

『獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 獣医臨床麻酔学』正誤表

このたびは『獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 獣医臨床麻酔学』（2017年4月発行）をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございました。ここにお詫びいたしますとともに、下記の通り訂正いたします。

2019年5月作成

頁	該当項目	該当箇所	誤	正
91	第5章	下から3行目	マルモードル鎮痛	マルチモードル鎮痛

2018年7月作成

頁	該当項目	該当箇所	誤	正
105	第6章	上から8行目	約42%	約58%

【訂正理由】

血中Hbのうち還元型Hb（酸素と結合していないHb）の血中濃度が5g/dLで「チアノーゼ」を認めますので、血中Hb濃度12g/dlの動物では還元型HbがHb全体の42%（ $=5\text{g/dL} \div 12\text{g/dL} \times 100$ ）となった場合にチアノーゼが発生します。つまり、残り58%は酸化Hbですので、Hb酸素飽和度は58%（ $\text{SaO}_2=58\%$ ）ということになります

頁	該当項目	該当箇所	誤	正
105	第6章	上から9行目	2.4g/dL	3.6g/dL

【訂正理由】

貧血の動物で血中Hb6g/dlの場合、Hb酸素飽和度が40%ということは、酸化Hb濃度は2.4g/dL（ $=6\text{g/dL} \times 0.4$ ）であり、還元型Hb濃度は最大で3.6g/dL（ $=6.0 - 2.4$ ）となります。